

# パラメータ設定ツール(MS200PCTool.exe)の起動

ダウンロードしたZIPファイル(MS200-PCTOOL\_V101.zip)をデスクトップ等で展開し、「MS200PCTool.exe」を実行。

名前	状態	更新日時	種類	サイズ
data	✓	2025/06/17 10:52	ファイル フォルダー	
BluetoothLEServer.exe	✓	2019/07/25 15:04	アプリケーション	89 KB
BluetoothLEServer.exe.config	✓	2019/07/24 10:11	CONFIG ファイル	1 KB
MS200PCTool.exe	✓	2025/02/06 17:46	アプリケーション	2,866 KB
MSBandPCTool.ini	✓	2025/06/19 9:21	構成設定	1 KB

# [インタフェース] MS200と接続(1/2)

パラメータ設定ツール(MS200PCTool)起動後、インターフェース選択よりUSB、またはBluetoothを選択してください。

USBの場合は、リストバンド型センサを充電ケーブルでPCに接続してください。

Bluetoothの場合は、センサのスイッチBを長押し + PCのBluetoothをONにしてください。



表 1-1 各部機能

ディスプレイ	状態通知、時刻、充電電池残量、センシングモード、暑さストレスレベル、脈拍数を表示します。
スイッチ A	画面変更、スタンダアローンセンシング開始・停止、アドバイズセンシング開始・停止等に使用します。 詳細は「2章 基本操作」と「3章 警告表示」を参照してください。
スイッチ B	画面変更、Bluetooth 起動・停止等に使用します。 詳細は「2章 基本操作」と「3章 警告表示」を参照してください。
スイッチ C	パーソナル情報設定に使用します。 詳細は「2章 基本操作」を参照してください。
脈拍センサー	緑色の LED を用いて脈拍数を計測します。
外気取込口	温度、湿度、気圧を測定するための外気を取り込みます。 リセット用の穴ではありませんので、押し込まないでください。

## [インタフェース] MS200と接続(2/2)

下記のように、接続可能なMS200のシリアル番号が表示されます。接続したいMS200のシリアル番号を選択してください。(Bluetooth接続の場合、通信可能な対象が複数表示されます)



# [パラメータ] MS200装着者のパラメータ設定 (1/2)

## パラメータ

→使用者用パラメータ設定

で右画面が出てきますので、

こちらで装着者情報を入力してください。入力後は必ず保存を押してください。

項目の詳細は取扱説明書のP21を参照ください。

The screenshot shows a web application window titled "MS200 パラメータ設定ツール". The navigation menu includes "インターフェース", "パラメータ", "機能選択", and "バージョン情報". The main content area is titled "パラメータ設定" and is divided into two sections: "ユーザー情報" and "暑さ指標/パラメータ".

項目	値	範囲
身長	170	0~250 cm
体重	65	0~250 kg
年齢	30	0~120 才
運動習慣	0	0~3
既往歴	0	0~10

At the bottom of the form, there are four buttons: "保存" (Save), "クリア" (Clear), "インポート" (Import), and "エクスポート" (Export).

# [パラメータ] MS200装着者のパラメータ設定 (1/2)

## パラメータ

→管理者用パラメータ設定

蓄積設定や記録モード、

リストバンド型センサの暑さストレスレベルの通知閾値が設定できます。

初期設定は、3に設定されています。1~4のいずれでも設定可能です。

ベルトを締めなおす警告の時間も設定できます。

MS200 パラメータ設定ツール

インターフェース パラメータ 機能選択 バージョン情報

パラメータ設定

- ・蓄積設定  96ミリ秒毎にストレージへ蓄積
- ・状況指数モード  状況指数設定モード
- ・アドバイズ設定 OFF
- ・記録設定  連続記録モード
- ・詳細データ周期 1秒毎に送信しストレージへ蓄積
- ・通知閾値 3 (0~4)
- ・ベルトを締め直す警告 15 (3~30分)

ここを選択した場合：  
ストレージはFULLになった際、  
順次、古いデータは上書きされていきます。

保存 クリア インポート エクスポート

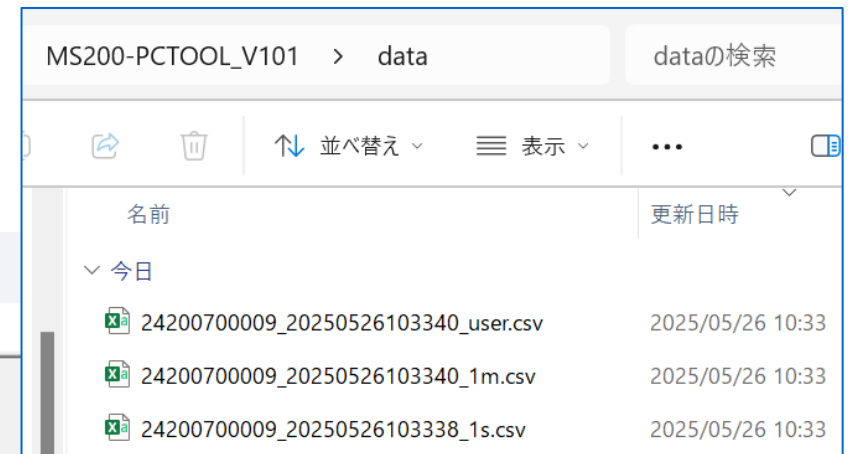
# [機能選択] ストレージデータ取得(保存)、データ削除、ユーティリティ(時刻修正)

## 機能選択

→データ取得：センサにストレージされたデータを出力します。出力ファイルは、パラメータ設定ツール (MS200PCTool)と同じフォルダに、「data」フォルダが生成され、「data」フォルダ内に保存されます。

→データ削除：センサにストレージされたデータを削除します。

→ユーティリティ：時刻設定で時刻を修正できます。



「data」フォルダに、3ファイル生成されます。  
ファイル名の最初の部分がSER No. ですので、  
個体を識別可能です。

- \*\_user.csv は、MS200から「通知」を発報した時刻情報
- \*\_1m.csv は、1分毎のセンシングデータ
- \*\_1s.csvは、1秒毎のセンシングデータ